

12. 胆道がん

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん  
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。  
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
 ○:あり ×:なし

○

No.	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日				各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法			ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
						体外照射	小線源治療			治療内容	治療実績	医師の専門分野
1	外科	6	5	状況 ○	○	×	×	個々のケースに応じた様々な治療は勿論のこと、病状の進行に伴う種々の苦痛(特に疼痛)や抗癌化学療法に伴う苦痛の緩和に積極的にも取り組んでいます。放射線療法は市立大学附属病院等と連携しております。	ア http://			
			実績 あり	あり	なし	なし			イ http://			
2	消化器内科	6	6	状況 ○	○	×	×	閉塞性黄疸に対するステント留置術を行なっています	ア http://			
			実績 なし	なし	なし	なし			イ http://			
3				状況					ア http://			
				実績					イ http://			
4				状況					ア http://			
				実績					イ http://			
5				状況					ア http://			
				実績					イ http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:胆管がん、胆嚢がん
	胆管がん、胆嚢がん